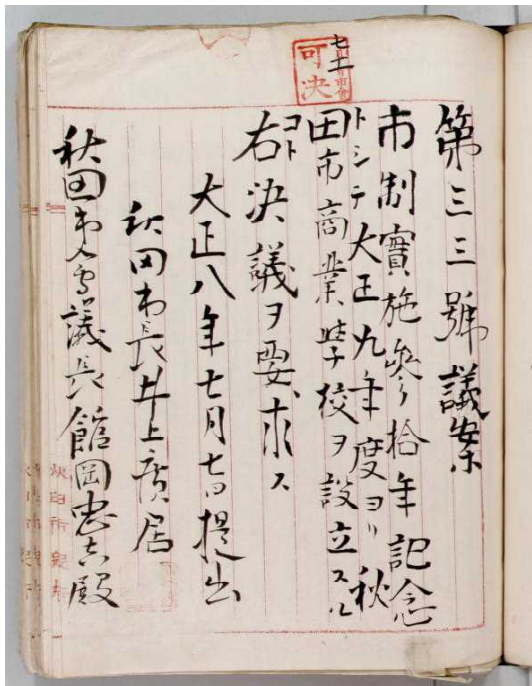


秋田商業高校の前身

秋田市民の間で商業学校を設置してほしいという気運が高まり、大正8年（1919）に市制実施30周年記念事業として、秋田市商業学校を設立する提案があり議決されました。翌9年に認可され開校しました。これが現在の秋田市立秋田商業高等学校の前身です。



「大正8年 市会議案綴」より

左の文書は大正8年7月7日に提出された第33号議案で、7月11日に可決されていることを示す印が押されています。

大正9年の開校により、秋田市商業学校は秋田県で最も古い歴史を持つ商業学校になりました。

秋田市商業学校以前には私立の商業補習学校がありました。この学校を引き継ぐ形で市立秋田商業補習学校が開校しましたが、入学者の減少によりその後廃止されています。

大正13年（1924）に榎山亀ノ丁東土手町（現在の榎山南中町街区公園）で校舎落成式典が行われ、昭和21年（1946）まで使用されました。



榎山亀ノ丁に新築された秋田市商業学校